

第2期SDG s 未来都市計画パブリックコメント一覧

No.	該当箇所	ご意見	回答
1	(P5)	シナジー効果の注釈を	※以下注釈を追記します。 「シナジー効果」とは「相乗効果」のことです。
2	(P7)	ハンディキャップを持つ人→ハンディキャップがある人 自立した日常生活→自立した文化的な生活	ご指摘ありがとうございます。修正します。
3	(P8)	スキマワーク→スキマワーク	修正します。
4	(P9)	町議会選挙→町議会議員選挙	修正します。
5	(P10)	森林サービス系事業の3事業の一つ自伐型林業は経済側面事業とダブるのでは	「経済」「環境」「社会」の3側面はそれぞれがかみ合うことで相乗効果を発揮します。既に展開している自伐型林業を守り育てることで事業体の強化や雇用の増加へつながり、産業としての林業振興と地域経済発展につながります。豊かな森林環境をテーマとした新たなサービス産業を本町で創出することは、経済の発展に深く関わってきます。「自伐型林業」は経済と環境どちらの側面も持ち合わせた事業ということになります。
6	(P13)	利用者20,000人は、人口に対して多すぎないか？ 民間企業には地区振興協議会などの団体も含まれるか？ リスクヘッジの注釈を	利用者20,000人は、令和元年に作成した「地域公共交通計画」においてすぎっ子バスの年間利用者数のピーク約33,000人をベースとし、共助交通に移行した際の利用者数として6割程度を見込み設定した数値です。  民間企業は共助交通に実績のある町外事業者を示しています。  ※以下注釈を追記します。 「リスクヘッジ」とは「危機回避体制」のことです。ここでは、住民ドライバーを活用することによる事故や接客トラブルを、保険加入や事前研修により軽減していくことを意味しています。
7	(P14)	メンターの注釈を 「てご」をもっとわかりやすく説明があったほうがよい	※以下注釈を追記します。 「メンター」とは「助言者、サポーター」のことです。  「てご」はスマートフォン等で活用可能な「電子通貨」であり、スポットを使って「貯める」こと「使う」ことができる表記に改めます。
8	(P15、P16)	大韓民国の表記を統一	「大韓民国江原道楊口郡」と統一表記します。
9	(P17)	「福祉の充実を図る」の関連事業が、これまでの記載だと幼児、高齢者と部分的にしか表現されていない。「福祉」を表現するなら、内容に「文化的に安心できる生活」が感じられる内容を入れてはどうか。KPIに自殺者数やミニデイ利用者を追加するとか。	本計画はSDG s 視点、特に智頭町の場合豊富な森林環境やコネクテッドカーなど独自の取り組みにおける見方を重視した、全国的にモデルとなり得る事業を記載しています。ご指摘の福祉的要素も重要な視点ではありますが、「地域福祉計画」等他計画により記載されている内容ですので、本計画で特筆する予定はございません。

第2期SDG s 未来都市計画パブリックコメント一覧

No.	該当箇所	ご意見	回答
10	(P19)	進捗管理を定期的に行うとあるが、具体的には？ アドバイザーボードの注釈を	SDG s の目標は智頭町の最上位計画である第7次総合計画とも紐付いており、総合戦略と共に毎年進捗管理を行います。  ※以下注釈を追記します。 「アドバイザーボード」は有識者や町内機関で構成され、提言、助言をいただく専門組織のことです。本町では令和3年度に設置しています。
11	(P21)	ステークホルダーの注釈を なんでもかんでも連携か、信頼とか関係強化とか	※以下注釈を追記します。 「ステークホルダー」は「利害関係者」という意味ですが、ここでは本町におけるまちづくりを進めて行く上で重要な関係団体を示します。  「連携」はSDG s のゴール「17」に設定してあるパートナーシップを確立するために最も重要な行為であると認識しています。ご指摘のとおり「信頼」が下地にあり、未来へ向けた「関係強化」が重要です。
12	全体的に	カタカナのビジネス用語が多く、誰向けに作成するのでしょうか。使用するなら注釈を入れては。	ご指摘ありがとうございます。わかりにくい単語には注釈を入れます。